

# 第59回-2016年度 紙パルプ技術協会年次大会 佐々木賞受賞講演のご案内



拝啓

時下ますますご清栄のことと存じます。平素は格別のお引き立てを賜り、誠に有り難うございます。この度、第59回紙パルプ年次大会において、断紙、欠点削減を目的とした弊社の様々なデポジット問題解決への取り組みについて講演させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬具

## 演題：-断紙、欠点ゼロへの日新化学研究所の挑戦- 安定操業の実現に向けた 多面的ケミカルアプローチ

講演者： 株式会社日新化学研究所 加藤雄一郎

開催場所：サンメッセ香川 2FサンメッセホールB (C会場)

講演日程：2016年10月5日 (水) 15:20～15:40 (初日、1番目の講演です)

主なプログラム：

- |                   |   |                        |
|-------------------|---|------------------------|
| ①断紙・欠点の原因となるデポジット | … | 断紙・欠点とは？どのような問題を生ずるのか？ |
| ②ピッチ問題の対策と解決事例    | … | ピッチ問題解決の基本概念NISSIN-PCM |
| ③プレス搾水性向上剤による安定操業 | … | プレス搾水性の向上による操業改善事例のご紹介 |
| ④工程内強化洗浄による問題解決   | … | 工程内強化洗浄による改善事例のご紹介     |

講演内容（要旨）：

工程内に付着するデポジットは、抄紙工程において断紙、欠点の発生に伴う操業トラブルを引き起こし、生産性や製品の品質に対してしばしば多大な悪影響をもたらします。断紙、欠点を引き起こす要因は多種多様であり、問題を解決する手段は一樣ではありません。弊社はデポジット問題を様々な角度から多面的に捉える事によって最適な解決方法を導き出していき事が重要と考えています。

弊社は60年以上、数多くの生産現場においてデポジットトラブルの原因を調査し、問題解決方法を研究開発し続け、これをデータベース化する事によって、迅速かつカスタマイズ化した最適なソリューションを提案し、安定操業の実現、すなわち“断紙欠点ゼロ”を目指しております。本講演では、化学的手段による断紙、欠点問題の解決に重要な概念と、原因調査から問題解決に至るまでのプロセスについて、そのいくつかの例を紹介させていただきます。

展示会場（大展示場A・B）にて、紙パルプ年次大会期間中の10/5(水)、10/6(木)に弊社ブースを出展いたします。

ご来場をお待ちしております。

※年次大会への参加方法について：弊社講演の聴講には参加申し込みが必要になります。

詳しくは紙パルプ技術協会ホームページ (<http://www.japantappi.org/>)

または紙パ協誌8、9、10月号をご覧ください。

担当者：多田秀和 Email [tada@nissin-kk.co.jp](mailto:tada@nissin-kk.co.jp)  
弊社HPアドレス：<http://www.nissin-kk.co.jp>  
TEL 072-671-5101/FAX 072-671-2289

私たちは生産現場のお悩みを解決するケミカルアシスタントです。

